

2019

[共同研究]

「1968年」社会運動の資料と 展示に関する総合的研究

荒川章二 編



共同研究の経過と概要 荒川章二

再考・小田実とベ平連 平井一臣

東大紛争大詰め of 文学部処分問題と白紙還元説 清水靖久

北大闘争の位置と思想 河西英通

東大闘争の専従記者から見た「1968年」報道 根津朝彦

東大闘争の戦略・戦術に見る1960年代学生運動の軍事化 小杉亮子

三里塚闘争における主体形成と地域変容 相川陽一

日大闘争 荒川章二

[研究ノート]

1960年代のサークル「山脈の会」 大串潤児

[資料紹介]

大阪府立旭高校における紛争1969 谷合佳代子

日本における反アパルトヘイト運動とその記録 平野 泉

日大闘争：大場久昭・森 雄一・池上宣文・清宮 誠
各氏聞き取り 共同研究委員会

国立歴史民俗博物館 研究報告

第216集
平成31年3月

Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

Collaborative Research:
A Comprehensive Study of Museum Collections
and Exhibitions on the 1968 Social Movement

Edited by ARAKAWA Shoji

**国立歴史民俗博物館
研究報告
第216集**

【共同研究】
**「1968年」社会運動の資料と
展示に関する総合的研究**

荒川章二 編

国立歴史民俗博物館研究報告 第216集
[共同研究]「1968年」社会運動の資料と展示に関する総合的研究

目次

共同研究の経過と概要	荒川章二	1
再考・小田実とベ平連 ベ平連への参加と「難死」の思想・「加害」の論理	平井一臣	11
東大紛争大詰め of 文学部処分問題と 白紙還元説	清水靖久	39
北大闘争の位置と思想	河西英通	71
東大闘争の専従記者から見た「1968年」報道 『毎日新聞』の内藤国夫を中心に	根津朝彦	121
東大闘争の戦略・戦術に見る 1960年代学生運動の軍事化 ジェンダー的観点からの1960年代 学生運動論との接続をめざして	小杉亮子	153
三里塚闘争における主体形成と地域変容	相川陽一	169
日大闘争 9.30 大衆団交以後	荒川章二	213
[研究ノート]		
1960年代のサークル「山脈の会」 発想とテーマについてのノート	大串潤児	243
[資料紹介]		
大阪府立旭高校における紛争 1969 山田耕作氏寄贈資料より	谷合佳代子	261
日本における反アパルトヘイト運動とその記録	平野 泉	279
日大闘争：大場久昭・森 雄一・池上宣文・ 清宮 誠 各氏聞き取り	共同研究委員会	291

Contents:

ARAKAWA Shoji	Progress and Overview of the Collaborative Research	1
HIRAI Kazuomi	Reflections on Makoto Oda and Beheiren : Participation in Beheiren, the Ideology of Meaningless Death, and the Logic of Self as Aggressor	11
SHIMIZU Yasuhisa	The Problem of Disciplinary Punishment at the Department of Literature in the Final Stages of the University of Tokyo Struggle and the Assumed Proposal of Blank Slate	39
KAWANISHI Hidemichi	The Positioning and Ideology of the Hokkaido University Struggle	71
NEZU Tomohiko	The “1968” Report as Seen from the Perspective of Specialist Correspondents of the University of Tokyo Struggle : Focusing on Kunio Naito, <i>Mainichi Shimbun</i>	121
KOSUGI Ryoko	The Militarization of the 1960s Student Movements : Analysis of Strategies and Tactics in the University of Tokyo Struggle	153
AIKAWA Yoichi	Agency Building and Regional Transformation during the Sanrizuka Struggle	169
ARAKAWA Shoji	Nihon University Struggle : The Aftermath of the 9/30 Mass Bargaining	213
Research Notes		
OGUSHI Junji	The 1960s’ Circle—The Yamanami no Kai : Notes on Ideas and Themes	243
Research Materials		
TANIAI Kayoko	The 1969 Conflict in Asahi High School, Osaka Prefecture : From Documents Donated by Mr. Kosaku Yamada	261
HIRANO Izumi	The Anti-Apartheid Movements in Japan and Their Records	279
Collaborative Research Committee		
	Nihon University Struggle : Interviews with Hisaaki Oba, Yuichi Mori, Norifumi Ikegami and Makoto Seimiya	291

『国立歴史民俗博物館研究報告』投稿要項

平成 29 年 3 月 27 日 研究推進センター会議決定

1 定義

- 1.1 『国立歴史民俗博物館研究報告』(以下「研究報告」という。)は、国立歴史民俗博物館(以下「本館」という。)の研究資源、機器等を利用した研究成果を掲載する本館における最も基本的な刊行物であり、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらと関連する諸分野に関する「論文」、「研究ノート」、「資料紹介」、「調査研究活動報告」(以下「論文等」という。)を發表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 1.2 通常号は、本館が定期的に刊行する研究成果の報告書であり、特集号は、本館共同研究等の成果報告書である。
- 1.3 掲載される論文等には、次の区分がある。
 - 一 論文：歴史学、考古学及び民俗学並びにそれらと関連する諸分野に関するオリジナルな研究の成果をまとめたもの、若しくはある分野に関する研究史や研究成果、現状、展望等を総覧し、総合的にまとめたもの
 - 二 研究ノート：研究の中間報告等大きな研究の一部をなすもの、若しくは予察、試論、着想等を提示するもの
 - 三 資料紹介：歴史・考古・民俗・博物館に関する資料の紹介や解題・翻刻を主としたもの
 - 四 調査研究活動報告：本館の事業や研究活動の内容について報告するもの、若しくは調査・研究の基礎情報を提示するもの
- 1.4 研究報告は、原則として本館のリポジトリに登録される。

2 資格

- 2.1 通常号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
 - 一 本館の教職員、客員教員、名誉教授
 - 二 本館運営会議委員
 - 三 本館の共同研究員等
 - 四 本館が受け入れた各種研究員、研究協力者(リサーチアシスタントを含む)
 - 五 本館特別共同利用研究員のうち受入期間中の研究成果の發表を希望する者で、指導教員が推薦した者
 - 六 総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻の大学院生
 - 七 本館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者
 - 八 その他、研究報告編集委員会(以下「委員会」という。)が適当と認めた者
- 2.2 特集号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
 - 一 本館の共同研究員等
 - 二 その他、本館共同研究等の代表が必要と判断し、委員会が適当と認めた者

3 投稿

- 3.1 原稿は、区分を問わず未發表のものとする。また、二重投稿は認めない。
- 3.2 原稿の区分は、執筆者が明示する。なお、この区分の最終的な調整は委員会において行う。
- 3.3 原稿の使用言語は、原則として日本語とする。他の言語を用いる場合は、日本語の翻訳又は抄訳を付ける。
- 3.4 「論文」には、800 字以内の日本語要旨及び 400 語程度の英語要旨並びに 5 項目以内のキーワードを付ける。
- 3.5 原稿の分量は、区分を問わず刷り上がりが 40 頁(写真、図版、表及び論文要旨等を含む)以内を目安とする。なお、1 頁の文字数は 1,700 字を目安とする。
- 3.6 特集号の原稿の総分量は、原則として、刷り上がりが 500 頁(写真、図版、表及び論文要旨等を含む)以内に収めるものとする。
- 3.7 カラー図版は、原則として認めない。希望する場合は理由を提出し、委員会の許可を得る。
- 3.8 写真・図版・翻刻等の研究報告及び本館のリポジトリへの掲載に関する許諾は執筆者がとり、使用料も原則として執筆者が負担する。

3.9 その他、原稿の執筆・提出に関する詳細は別に定める。

4 受理・採録

- 4.1 原稿は、委員会で定めた査読者による査読を経て、委員会が審査の上、掲載の可否を決定する。
- 4.2 原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。返却を希望する写真、図版等のある場合には申し出ること。
- 4.3 掲載順序は、通常号においては「論文」、「研究ノート」、「資料紹介」、「調査研究活動報告」の順とし、同区分の場合は著者の五十音順とする。特集号においては本館共同研究等の代表が定める。

5 権利関係

- 5.1 研究報告の編集著作権は大学共同利用機関法人人間文化研究機構にあり、論文等の著作権は執筆者に属する。
- 5.2 本館は、本館のリポジトリに関して複製権と公衆送信権をもつ。但し、執筆者は公開に適さない部分の削除・非公開を表明できる。
- 5.3 執筆者の所属機関等のリポジトリでの公開は、研究報告の紙型を用いた場合は刊行から1年後以降、データのみの場合は初出を明記した上で奥付日以降に可能とする。なお、所属機関等のリポジトリに公開を希望する場合は、本館に連絡する。

6 その他

- 6.1 本館で作成する抜刷りは、100部までとする。
- 6.2 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 6.3 本要項の改訂に際しては、委員会が原案を作成し、研究推進センターが決定する。
- 6.4 提出先・連絡先

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地
国立歴史民俗博物館研究協力課 研究報告担当（代表電話 043-486-0123）

附 則

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（通常号）及び『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（特集号）は廃止する。

〔国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会〕

館外委員 (五十音順)

伊藤紫織 尚美学園大学芸術情報学部
寺前直人 駒澤大学文学部
本郷恵子 東京大学史料編纂所
和田 健 千葉大学国際教養学部・大学院人文公共学府

館内委員

小池淳一 研究部民俗研究系 (編集委員長)
島津美子 研究部情報資料研究系
樋浦郷子 研究部
松木武彦 研究部考古研究系
関沢まゆみ 研究部民俗研究系 (研究推進センター長)

国立歴史民俗博物館研究報告 第216集
〔共同研究〕「1968年」社会運動の資料と展示に関する総合的研究
荒川章二 編

●
平成31年(2019) 3月29日 第1版第1刷発行

(非売品)

発行所

●
大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-0123(代)

印刷・製本所

●
株式会社 正文社

〒260-0001 千葉県千葉市中央区都町1-10-6 ☎043-233-2235(代)

〔装丁〕 中山銀士

Bulletin of the National Museum of Japanese History

Collaborative Research : A Comprehensive Study of Museum Collections and Exhibitions on the 1968 Social Movement

Edited by ARAKAWA Shoji

Progress and Overview of the Collaborative Research
ARAKAWA Shoji

Reflections on Makoto Oda and Beheiren :
Participation in Beheiren, the Ideology of Meaningless Death, and the Logic of Self as Aggressor
HIRAI Kazuomi

The Problem of Disciplinary Punishment at the Department of Literature
in the Final Stages of the University of Tokyo Struggle and the Assumed Proposal of Blank Slate
SHIMIZU Yasuhisa

The Positioning and Ideology of the Hokkaido University Struggle
KAWANISHI Hidemichi

The “1968” Report as Seen from the Perspective of
Specialist Correspondents of the University of Tokyo Struggle :
Focusing on Kunio Naito, *Mainichi Shinbun*
NEZU Tomohiko

The Militarization of the 1960s Student Movements :
Analysis of Strategies and Tactics in the University of Tokyo Struggle
KOSUGI Ryoko

Agency Building and Regional Transformation during the Sanrizuka Struggle
AIKAWA Yoichi

Nihon University Struggle : The Aftermath of the 9/30 Mass Bargaining
ARAKAWA Shoji

Research Notes

The 1960s' Circle—The Yamanami no Kai : Notes on Ideas and Themes
OGUSHI Junji

Research Materials

The 1969 Conflict in Asahi High School, Osaka Prefecture :
From Documents Donated by Mr. Kosaku Yamada
TANIAI Kayoko

The Anti-Apartheid Movements in Japan and Their Records
HIRANO Izumi

Nihon University Struggle :
Interviews with Hisaaki Oba, Yuichi Mori, Norifumi Ikegami and Makoto Seimiya
Collaborative Research Committee

ISSN 0286-7400

vol. 216
2019